

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-543601(P2009-543601A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-519575(P2009-519575)

【国際特許分類】

A 4 4 B 18/00 (2006.01)

B 2 9 D 5/10 (2006.01)

【F I】

A 4 4 B 18/00

B 2 9 D 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月23日(2010.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネット部分と第 2 の一体型非ネットフィルム部分とを有する連続高分子フィルム裏材を含み、前記ネット部分が、第 1 方向に延在する第 1 の複数の熱可塑性ストランドの組及び第 2 方向に延在する第 2 の複数の一体型ストランドの組から形成され、前記第 1 の複数の熱可塑性ストランドの組及び前記第 2 の複数の一体型ストランドの組の少なくとも 1 つの組が直立するフック要素を有する、高分子フィルムフックネット。

【請求項 2】

ネット部分と第 2 の一体型非ネットフィルム部分とを有する連続高分子フィルム裏材を含み、前記ネット部分が、第 1 方向に延在する第 1 の複数の熱可塑性ストランドの組及び第 2 方向に延在する第 2 の複数の一体型ストランドの組から形成され、第 1 の複数の熱可塑性ストランドの組及び前記第 2 の複数の一体型ストランドの組の少なくとも 1 つの組が、直立するフック要素及び物品に取り付けるための第 2 の一体型非ネットフィルム部分を有する、物品の締結タブ。

【請求項 3】

熱可塑性高分子ネットを形成する方法であって、

第 1 方向に延在して連続する隆起部を形成する複数のピーク及び谷として、上面から下面まで延在する一連の隆起部を有する第 1 の三次元ポリマーフィルム部分を含むフィルムを押し出し、同時に、実質平面な裏材を有する第 2 の実質連続的な平面裏材部分を押し出す工程と、

前記第 2 の実質連続的な平面裏材部分の裏材を切断することなく、複数の切断部分を形成するように、前記フィルムを実質的に通る複数の切断線において、前記第 1 方向に対してある角度をなす第 2 方向に、少なくとも 1 つの面において前記三次元ポリマーフィルム部分を切断する工程と、

前記複数の切断部分が互いに分離するように、切断された前記フィルムを前記第 1 方向に方向付けて、非切断部分により接続されるストランドの組を有するネット部分と、前記平面裏材部分の非切断裏材により形成される非ネット部分と、を形成する工程と、を含む方法。